

【参考資料 1】 膵臓移植レシピエント適応基準 変更点

<p style="text-align: center;"><b>現行の基準</b></p> <p>(「膵臓移植に関する実施要綱」(2010年12月改訂) 移植関係学会合同委員会・膵臓移植中央調整委員会 26 ページ)</p>	<p style="text-align: center;"><b>新基準</b></p>
<p style="text-align: center;"><b>VI. 膵臓移植のための各種基準</b></p> <p><b>3. 膵臓移植レシピエント適応基準</b> (移植関係学会合同委員会：平成 22 年 7 月 5 日)</p> <p>(1) 対象</p> <p>膵臓移植の対象は、以下の①、②のいずれかに該当する者であり、かつ、該当者が居住する地域の適応委員会において長期間にわたる臨床データおよび臨床検査をもとに、適応あり と判定されたものとする。なお、レシピエントの評価をする際には、心血管機能と腎機能に十分配慮する必要がある。</p> <p>①腎不全に陥った糖尿病患者であること。</p> <p>臨床的に腎臓移植の適応がありかつ内因性インスリン分泌が著しく低下しており、移植医療の十分な効能を得る上では膵腎両臓器の移植が望ましいもの。患者はすでに腎臓移植を受けていてもよいし、腎臓移植と同時に膵臓移植を受けるものでもよい。</p> <p>②IDDM 患者で、糖尿病学会専門医によるインスリンを用いたあらゆる治療手段によっても血糖値が不安定であり、代謝コントロールが極めて困難な状態が長期にわたり持続しているもの。本例に膵臓単独移植を考慮する場合もあり得る。</p>	<p style="text-align: center;"><b>VI. 膵臓移植のための各種基準</b></p> <p><b>3. 膵臓移植レシピエント適応基準</b> (移植関係学会合同委員会：平成 22 年 7 月 5 日)</p> <p>(1) 対象</p> <p>膵臓移植の対象は、<u>膵腎同時移植・腎移植後膵臓移植の対象は以下の①、膵臓単独移植の対象は以下の②に該当する者であり、</u>かつ、該当者が居住する地域の適応委員会において長期間にわたる臨床データおよび臨床検査をもとに、適応あり と判定されたものとする。なお、レシピエントの評価をする際には、心血管機能と腎機能に十分配慮する必要がある。</p> <p>①腎不全に陥った糖尿病患者であること。</p> <p>臨床的に腎臓移植の適応がありかつ内因性インスリン分泌が著しく低下しており、移植医療の十分な効能を得る上では膵腎両臓器の移植が望ましいもの。患者はすでに腎臓移植を受けていてもよいし、腎臓移植と同時に膵臓移植を受けるものでもよい。</p> <p>②IDDM 患者で、糖尿病学会専門医によるインスリンを用いたあらゆる治療手段によっても血糖値が不安定であり、代謝コントロールが極めて困難な状態が長期にわたり持続しているもの。本例に膵臓単独移植を考慮する場合もあり得る。</p>